

5. スモン

1 必発症状

(1) 腹部症状（腹痛，下痢など）

(2) おおむね，神経症状に先立って起こる。

(3) 神経症状

急性又は亜急性に発現する。

知覚障害が前景に立つ。両側性で，下半身，ことに下肢末端に強く，上界は不鮮明である。特に，異常知覚（ものがついている，しめつけられる，ジンジンする，その他）を伴い，これをもって初発することが多い。

2 参考条項

必発症状と併せて，診断上極めて大切である。

(1) 下肢の深部知覚障害を呈することが多い。

(2) 運動障害

下肢の筋力低下がよくみられる。

錐体路徴候（下肢腱反射の亢進，Babinski 現象など）を呈することが多い。

(3) 上肢に軽度の知覚・運動障害を起こすことがある。

(4) 次の諸症状を伴うことがある。

両側性視力障害

脳症状，精神症状

緑色舌苔，緑便

膀胱，直腸障害

(5) 経過はおおむね遷延し，再燃することがある。

(6) 血液像，髄液所見に著明な変化がない。

(7) 小児には稀である。